

2026 年度静岡大学外国人留学生特別選抜
アジアブリッジプログラム(学士課程)
学生募集要項

Shizuoka University



National University Corporation

Shizuoka University

目次

静岡大学の「入学者受け入れの方針(アドミッションポリシー)」	3
各学部の入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)	3
I 募集人員	9
II 出願資格	9
III 出願要件	10
IV 出願手続き	10
1. 提出書類等一覧	11
2. 出願方法	13
3. 出願期間	13
4. 出願から入学までの日程	13
V 選抜方法	14
1. 選抜方法・配点	14
2. 第二次選抜について	16
VI 合格発表	17
VII 入学手続きと入学日	17
VIII 注意事項	17
1. 入学検定料および授業料	17
2. 入学に係る初期費用(概要)	17
3. 入学後の住居および生活費	17
4. 問い合わせ先	17
5. 試験結果の開示申請	18
6. 個人情報の取扱いについて	18
7. 安全保障輸出管理について	18
[別表 1] 各学部が求める日本語能力の目安	19
[別表 2] GCE・A レベル資格の扱いについて	19
[別表 3] 出願に必要な受験科目	20

静岡大学では、社会の変革を担うイノベーション人材として、グローバルに活躍する熱意を有するインド共和国、インドネシア共和国、ミャンマー連邦共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国からの外国人留学生のための入学者選抜試験を実施します。10月に入学した後は志望した学部・に籍を置き、半年間の初学期教育(日本語、数学等)を経て、一般学生と共に教養教育および専門教育課程で学び、4年間で卒業します。なお、入学後の授業は原則として日本語で実施されます。各学部が求める日本語能力の目安は、[別表1](p.19)に示すとおりです。

静岡大学の「入学者受け入れの方針(アドミッションポリシー)」

【育てる人間像】

静岡大学は、教職員、学生が共に「自由啓発」を基盤として、平和で幸福な「未来創成」をめざします。この基本理念の下、地球の未来に責任をもち、アジアをはじめ諸外国との関わりをもつ国際的感覚を備え、高い専門性を有し、失敗を恐れないチャレンジ精神にあふれた人格を育成します。こうした人格こそが、社会の様々な分野でリーダーとして、21世紀の解決すべき問題を追求し続ける豊かな人間性を有する教養人です。

【目指す教育】

感性豊かな知性を育てるために、フィールドワーク、ものづくり体験、地域づくり、子どもと共にそだちあえる学校や地域の場に接する機会を活用します。それによって刺激を受けた人間力を、基礎と応用の分野での学習・研究に反映させます。

【求める学生像】

失敗を恐れず若々しいチャレンジ精神をもち、人の意見によく耳を傾け、それに学び、協調性豊かに自己主張ができる人の入学を期待します。

* 「自由啓発」・「未来創成」については、本学ホームページの「大学案内」>「理念と目標・取組」>『理念と目標』(<https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals>)をご覧ください。

* 静岡大学では「多様な選抜」で「多様な人材」を求めており、一部の学部・学科において専門学科及び総合学科枠等の出願資格の限られた募集区分を設けています。

【アジアブリッジプログラムが育成する人材像】

理工系の専門性に経営的思考、文系の専門性に理工学的思考をあわせ持ち、広い視野のもとでアジアを中心とする海外で中核となって活躍する人材。

育成する人材には、将来的に次のような貢献が期待されています。

- ・ アジアの各地で、生産・販売・営業の拠点をマネジメントする。
- ・ 現地人材として日本語で工業・農業・情報通信等の技術を語ることができ、日本企業の技術力・事業力を活かした海外展開を推進する。
- ・ 教育学部卒業生は、日本の教員免許(卒業要件)を取得し、グローバルな視点で学校教育を推進する。

各学部の入学者受入の方針(アドミッション・ポリシー)

◆人文社会科学部

【育てる人間像】

21世紀の多様な問題に、社会、言語、文化、法律、政治、経済等の分野から取り組むために必要な専門知識と能力を身につけ、国際的な視野と幅広い教養を備え、人類社会の発展に貢献する市民・社会人を育成します。

【目指す教育】

人文社会科学諸分野の専門教育とともに、専門知識を生かして課題発見・問題解決する能力を育成する少人数教育やフィールドワーク教育(体験型教育)を行います。

【求める学生像】

人類社会が共に抱える諸問題に関心をもち、人文社会科学領域に対する学習意欲と、そのための基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

社会科学は5つの専門分野からなる学際性の高い学科です。専門性を高めつつも横断的に学んでいくため

に、人間や社会に対しての旺盛な関心、各種科目についての基礎知識、論理的な思考力、正確な文章読解力、基礎的な表現力を身につけておくことが求められます。

言語文化学科で学ぶ基礎となる論理的な思考力、文章の読解力、自分の意見を伝える表現力、他者との意思疎通を図るコミュニケーション能力を高めておく必要があります。高等学校までの教育課程で修得する基盤的教養と国語や外国語の能力は特に重要です。

法学科で学ぶには、論理的な思考力、文章の読解力、自分の意思を適切に伝える表現力、他者との円滑な意思疎通を図る能力が必要になります。日頃から社会の動きに関心を持ち、幅広い問題意識と探求心を養っておい

てください。
経済学科で学ぶには、必要な能力の素地となる基礎的な学力として、初等中等教育における国語・外国語・数学・理科・社会の各教科を学習しておくことが必要です。また新聞やニュースを通じて経済に関する国内外の時事問題等を理解しておくことが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

《外国人留学生特別選抜 アジアブリッジプログラム》：夜間主コースを除く

1.日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験：人文社会科学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。

2.[社会学科]面接：社会学科において学ぶための基本となる幅広い視点からの分析力や考察力、論理的思考力、及び日本語の読解力・表現力、大学生活に必要な日本語の運用力等を総合的に判断します。

[言語文化学科]面接：勉学意欲、問題意識、思考力、日本語の読解力・表現力、大学生活に必要な日本語の運用力等を総合的に判断します。

[法学科]面接：法学及び政治学を学ぶ上で必要な日本語能力の到達度、大学教育を受ける上での基礎学力の有無、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

[経済学科]面接：大学教育を受ける上で最低限必要な日本語能力を身につけていることを前提として、経済学科において学ぶための基本となる論理的思考力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
外国人留学生特別選抜 アジアブリッジプログラム	全学科 (*1)	日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験	○	○	
		面接		○	○

*1：夜間主コースを除く

◆教育学部

【育てる人間像】

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員を育成します。

【目指す教育】

教育に関する理論に基づく学究活動と実践的な体験活動を通して、教職に対する強い情熱を持つとともに、教員に必要な専門的知識や技能、様々な教育課題に対応できる問題解決力や創造力等を身につけることができる教育を行います。

【求める学生像】

教育問題や教育活動に関心が高く、教職への適性・志向性をもつとともに、教員として必要となる基礎的な知識や技能、新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力、および他者と協働的に課題に取り組むことを可能にするコミュニケーション力等を備えた人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

教育学部が行う入学者選抜試験は、受験者が上記の「求める学生像」を満たす人であるかどうか、入学後に学習を進めていくために必要な力を有するかどうかをはかるものです。志願者は、志望する専攻・専修に課されている試験の科目について、幅広く学習を進めるだけでなく、日頃から教育問題や教育活動に関心をもっておくこ

とが望めます。

【入学者選抜の基本方針】

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として、教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに、変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け、他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し、そのために必要となる能力・学力・適性等を、次の各試験において判断します。

《外国人留学生特別選抜 アジアブリッジプログラム》

1. 日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験：教育学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
2. 面接：教職に必要な能力・学力・適性等を評価するとともに、日本における教育・教員養成についての理解と日本の学校で実施する教育実習等の履修に必要な日本語の運用力を判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
外国人留学生特別選抜 アジアブリッジプログラム	全専攻・専修	日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験	○	○	
		面接	○	○	○

◆情報学部

【育てる人間像】

情報科学、行動情報学、情報社会学についての豊かな知識と国際感覚を備え、情報モラルと高度な情報技術、情報マネジメント能力を身につけた社会人を育成します。

【目指す教育】

情報科学、行動情報学、情報社会学が連携・融合した情報学の基礎的な教育とともに、それぞれの分野において計算機科学、データサイエンスや情報サービス、情報社会デザインという体系的な専門教育を行います。

【求める学生像】

著しい発展を続ける学問分野「情報学」に強く興味を持つ人、情報ネットワーク社会にあって多様化する地域社会および国際社会に貢献する意欲のある人、情報技術とそれを取り巻く社会や人間行動の変化を捉える学理を確立する意欲のある人、情報学を学ぶうえで必要な基礎学力と論理的思考力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

情報学部は文工融合の理念にもとづいた学部です。学科により理系入試と文系入試がありますが、大学入学後は3学科の専門科目にまたがる諸科目を履修します。したがって、大学での授業に対応できるように理系文系を問わず広く教科・科目を学習し、基礎知識を習得しておくことが必要です。また基礎知識に加えて、各教科・科目の学習を通して論理的思考力・問題発見力・表現力を養うことも必要です。

入学者選抜の基本方針

【情報科学科】

人間・社会と調和する情報システムの構築を目的に、a. 計算機科学の基礎となる理論や技術、b. インターネットの基礎となる計算機ネットワークの理論と技術、c. 人工知能システムなどの高度な情報処理システム、d. 音声や画像、自然言語などのメディア処理とその応用、e. 認知科学やそのヒューマンインタフェースへの応用などの分野で専門的実践能力をもった人材を育成することを目指し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

【情報社会学科】

高度情報化は、人間の社会や文化に深く影響を与えています。情報社会学科では、情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで、多角的な観点から情報社会の目標や課題を考えていきます。そして、多様な専門家との協働の場を形成し、新しい情報社会をデザイン・実現できる人材を育成することを目指

し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

[行動情報学科]

高度情報化社会の下で、個人や組織の行動主体の情報学研究や、ICT のより実践的な活用が強く求められています。行動情報学科では、情報科学と行動科学を融合させ独自に発展しつつある「行動情報学」をベースに、革新的なサービスを創出する人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

《外国人留学生特別選抜 アジアブリッジプログラム》

1. 日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験:情報学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
2. 面接:学習意欲、学科の特性・教育理念との適合性などを判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
外国人留学生特別選抜 アジアブリッジプログラム	全学科	日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験	○	○	
		面接		○	○

◆理学部

【育てる人間像】

高い専門性ととともに幅広い教養・豊かな人間性・国際感覚を身につけた社会に貢献できる人を育成します。

【目指す教育】

自然界の真理の探究、科学の進展と応用を通じて人類の幸せに寄与することを目指した教育を行います。

【求める学生像】

知的好奇心や探究心を強く持って未知へ挑戦する情熱ある人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

理学部が行う入学者選抜試験は、受験者が上記の「求める学生像」を満たす人であるかどうかをはかるものです。「未知への挑戦」のためには幅広い基礎知識が必要です。したがって、入試種別に関わりなく、特定の教科・科目にかたよらないよう、高校までに学習する全ての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

【入学者選抜の基本方針】

[数学科]

現代数学の基礎的分野について確実な知識を持ち研究・教育・応用いずれの方面に進んでも、それぞれの創造性を十分発揮できるような人材の養成を目標に、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

[物理学科]

物理学の基本となる力学、電磁気学、統計物理学、量子力学などの科目を通じて、物理学的な考え方や数学的手法を学び、自然現象の本質を探究する研究や科学技術の研究開発に必要な基礎学力と論理的で柔軟な思考能力を身につけて、社会や学問の発展に貢献できるような人材の育成を目的に、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

[化学科]

物理化学、無機化学、有機化学、生物化学などの化学の幅広い理論や技術を学び、自然科学の分野において活躍できる人材の育成を目的に、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

[生物科学科]

生物科学についての理論と技術を幅広く学び、生物科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし、その

ための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

【地球科学科】

地球科学についての理論と技術を幅広く学び、地球科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

【創造理学(グローバル人材育成)コース】

基礎科学の各分野における学識とそれに基づいた問題解決能力を備え、英語による情報の収集・発信を行う力や国際感覚を持ち、各分野の知識・技術を社会に活かすイノベーションの感覚を持ってグローバルに活躍できる人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

《外国人留学生特別選抜アジアブリッジプログラム》:数学科、物理学科、化学科、生物科学科、地球科学科

1. 日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験:理学部で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
2. 面接:適性、意欲、熱意、表現力などを総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
外国人留学生特別選抜 アジアブリッジプログラム	数学科, 物理学科, 化学科, 生物科学科, 地球科学科	日本留学試験・ 日本語能力試験・ 英語資格試験	○	○	
		面接	○	○	○

◆工学部

【育てる人間像】

「仁愛を基礎にした自由啓発」の精神を尊び、人類の豊かな未来の創成に貢献することを理念とし、「ものづくり」を基盤とした基礎力と実践力を備え、地域社会や産業分野でリーダーとして活躍し世界にはばたく人材を育成します。

【目指す教育】

豊かな教養と感性及び国際的な感覚を身につけ、多様化する社会に主体性を持って柔軟に対応し、独創性に富んだ科学技術を創造する技術者として活躍できるための素地を培う実学重視の教育を行います。

【求める学生像】

「ものづくり」に興味があり、何事にも協調性を持ちながら積極的に立ち向かう人、高い倫理観を持って社会に貢献しようとする人、工学を学ぶうえで必要な基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

工学部が行う入学者選抜試験は、工学を学ぶうえで必要な基礎学力を受験者が有しているかを判定します。大学入学共通テストでは、前後期日程とも6教科8科目を課し総合的な基礎学力を問うとともに、個別学力検査では、各学科で学ぶための基本となる学力について問うため、前後期日程とも数学、理科、英語の3教科3科目を課しています。したがって、入試種別に関わりなく、理系科目に重点を置きながらも、文系科目を含めて高校までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得していることが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

【機械工学科】

航空宇宙の技術や環境問題にも対応できる先端の機械技術を有する人材、ロボットなどの身近な機械の設計や先端材料の強度設計と加工技術を有する人材、光・電気電子・情報・生体・ナノ工学分野を積極的に取入れた機械システム・技術の開発に貢献できる人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

【電気電子工学科】

現代文明を支える社会・産業の基幹技術としての電気電子工学は、情報通信・情報処理、生体医用技術、光エレクトロニクス、電気エネルギーの発生および有効利用、パワーエレクトロニクス、電子計測制御技術の開発・応

用へと広範囲に時代の要請を先取りして広がっています。これらの電気電子工学の諸分野において高い専門性を持った人材の育成を目指し、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

[電子物質科学科]

電子物質科学は、現代の豊かで安全な生活を支えている電気電子機器産業や輸送機器産業あるいは新規エネルギー産業の発展の基盤となる電子物理と物質科学を融合した新しい学問分野です。そこで、本学科では数学、物理や化学の基礎学力があり、日本が世界に誇れるデバイス技術と材料技術とともに修得して新しい学問領域や科学技術の進歩を牽引できる人材の育成を目指しており、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

[化学バイオ工学科]

化学バイオ工学科では、光機能物質、生体機能物質などの環境調和型高機能物質のデザインと創成や、環境化学、化学システムの開発・設計に関する教育と研究を行います。また、化学技術と生物工学を新たに融合させた「生物からのものづくり技術」であるケミカルバイオエンジニアリングに関する教育と研究を行います。この化学をベースとした新領域の工学的応用を進めていくことにより、研究開発やシステム構築を含めた化学分野全体において、責任を持って積極的に目的を遂行できる社会のリーダーたる人物の育成を目指します。選考では、そのために必要な能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

[数理システム工学科]

数理システム工学科では、数理モデリング・シミュレーション・最適化など数理科学の手法とプログラミング言語・アルゴリズムなど情報科学の基礎、そしてリスク管理など環境科学の諸分野の学習により、「地球にやさしいシステムエンジニア」の育成を目指しており、そのための能力・学力・適性等を、各試験において判断します。

《外国人留学生特別選抜 アジアブリッジプログラム》

1. 日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験:大学で学ぶ際に必要な基礎学力を判断します。
2. 面接:志望動機、意欲、熱意などと共に、志望学科で学ぶために必要な能力・学力・適性も含め、総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
外国人留学生特別選抜 アジアブリッジプログラム	全学科	日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験	○	○	
		面接	○	○	○

◆農学部

【育てる人間像】

人間社会と直結したフィールド科学と基礎科学を修得し、農学の幅広い専門分野を俯瞰でき、かつ相応の専門性を有するとともに、人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し、地域活性化への貢献とグローバル社会への適応が可能な総合力を備えた人材を育成します。

【目指す教育】

実地体験型フィールド演習と基礎科学実験を基盤として、座学と実験・演習の連動を重視したカリキュラム構成によって、基礎から応用までを見渡せる広い視野を身につけるとともに、専門性を高める教育を行います。

【求める学生像】

自然科学、生命科学を学ぶ上で必要な適性と基礎学力を有し、人類の生存と福祉に関わる環境・社会問題の解決、持続可能な生物生産技術の開発、応用生命科学の探求に強い意欲を持つ人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

農学部が行う入学者選抜試験は、受験者が「求める学生像」の観点を満たす人物であるかどうかをはかるものです。前期日程では、大学入学共通テストで6教科8科目と個別学力検査では数学、理科を課しています。また後期日程では、大学入学共通テストの6教科8科目と個別学力検査では理科等を課しています。したがって、入試種別に関わりなく、高等学校修了までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得するとともに、

理系科目を十分に学習しておく必要があります。

【入学者選抜の基本方針】

人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し、持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を、次の各試験において判断します。

《外国人留学生特別選抜アジアブリッジプログラム》

1. 日本留学試験・日本語能力試験・英語資格試験：大学で学ぶに際して必要不可欠な基礎学力を判断します。
2. 面接：日本文化に対する理解力や適応性も含めて、志望動機、意欲、熱意などを総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
外国人留学生特別選抜 アジアブリッジプログラム	全学科	日本留学試験・ 日本語能力試験・ 英語資格試験	○	○	
		面接	○	○	○

I 募集人員

文系	人文社会科学部 教育学部 情報学部(情報社会学科)	}	合計 23 名程度
理工系	情報学部(情報科学科・行動情報学科) 理学部 工学部 農学部		

※本入試において合格者が募集人員に達しない場合、一部の学部・学科において第2次募集を実施することがあります。第2次募集実施の有無については、2026年4月初旬に以下のABP Web サイトでお知らせします。

<https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp>

II 出願資格

入学を志願できる人は、次の1)～4)の全てに該当する人に限ります。

- 1) 日本国籍を有しない人で、出入国管理および難民認定法に定められている「留学」の在留資格を有する人、または入学手続締切日までに「留学」の在留資格を取得できる見込みの人。
- 2) インド共和国、インドネシア共和国、ミャンマー連邦共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国のいずれかの国籍を有する人。
- 3) 次の①から⑥のいずれかに該当する人。
 - ① インド共和国、インドネシア共和国、タイ王国、ベトナム社会主義共和国のいずれかの学校教育における12年の課程を修了した人、または、ミャンマー連邦共和国においてアテッタン・アスイン・ピンニャーイェーの課程(旧ビルマ連邦社会主義共和国のアテッタン・アスイン・ピンニャーイェーの課程を含む。)を修了した人(2026年9月30日までに修了見込みの人を含む)。または、これに準ずる人で日本国文部科学大臣の指定した人。
 - ② 上記①と同等以上の学力があると確認できる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した人で、2026年9月30日までに18歳に達する人。

- ③スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する人。
- ④ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する人。
- ⑤フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する人。
- ⑥英国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(以下「GCE・A レベル資格」という)を有する人。なお、出願に必要な科目数や評価については、**[別表 2]**(p. 19)に示します。

4) 学校教育における 12 年の課程あるいはそれに相当する学習期間のうち、日本の中等教育学校(中学校および高等学校に相当)に在籍していた期間が通算して 3 年以内である人。日本にある外国人学校および外国にある日本の教育制度に準拠した学校に在籍した場合は、その在籍期間を日本の学校と同様に扱います。

出願資格について不明な点がある場合は、「**VIII 注意事項**」(p. 17)に示す窓口まで事前に問い合わせてください。出願に際し不正等があった場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。

III 出願要件

次表「**1. 提出書類等一覧**」の 8 番に示す日本留学試験(EJU)実施回のうちいずれか一つの成績確認書または成績通知書、および 2023 年 11 月 11 日以降に受験した各種英語資格試験のスコアレポートを提出できること。出願に必要な受験科目は、**[別表 3]**(p. 20)に示すとおりです。

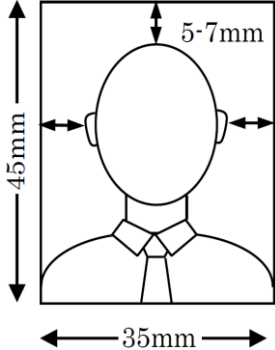
EJU の 2025 年度第 2 回受験分についてのみ、成績確認書の代わりに受験票の写しを提出することで、出願要件を満たすものとします。また、EJU の「日本語」科目についてのみ、次表「**1. 提出書類等一覧**」の 10 番に示す日本語能力試験(JLPT)実施回のうちいずれか一つの合否結果通知書を提出することで、出願要件を満たすものとします。

IV 出願手続き

出願する人は、「**1. 提出書類等一覧**」に掲げる全ての書類を所定の形式で用意しオンライン出願サイト上で提出してください。出願期間中に全ての書類を提出し、出願サイト上の「Final Submission」ボタンを押すことによって出願が完了します。記入漏れや虚偽の記載のあることが判明した場合は、出願を受理しないことがあります。

複数の学部・学科に出願することはできません。

1. 提出書類等一覧

番号	書類等名	提出形式	説明
1	出願者情報	オンライン入力	・オンライン出願サイトの画面上で必要事項を入力すること。 ・登録・出願には、パスポートもしくは各国の身分証に書かれているとおりの英語表記名を(省略せずに)使用すること。 ・出願者情報、各種試験のスコアを漏れなく入力すること。
2	日本語エッセイ (志望理由書)	電子ファイル(PDF)	・志望動機、興味のある学問分野、卒業後の進路希望などについて日本語 500 字程度で作成し、PDF 形式で提出すること。(所定の書式を下記 ABP Web サイトからダウンロードし、冒頭に必ず受験番号と英語表記名を(省略せずに)記載のうえ、PDF に変換して提出すること) https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp/u-admissions/ ※教育学部に出願する場合、志望理由に加え教員免許取得後の抱負についても書いてください。以下のサイトに、各学部および学科の概要を説明しています。https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp/u-departments/ - 教育学部を希望する人は 【ABP 教育学部への出願を検討している皆さんへ】 https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/abp_kyoiku.pdf をよく読み、教員免許の取得について確認をしてください。
3	顔写真	電子ファイル(PDF/JPG/GIF/PNG のいずれか・150 dpi 以上)	・次に示すサイズで、外枠から頭部まで 5-7mm の余白があるもの。  写真イメージ ・正面向き半身脱帽で、出願前 3 か月以内に撮影したもの。(ただし、宗教上の理由で頭部が覆われている場合、顔が鮮明に写っているものであれば差支えありません。) ・150 dpi 以上の解像度をもつもの。
4	成績証明書		・出願者情報に入力した教育課程に基づき、出身学校長等が発行した高等学校(Upper Secondary School)各学年の成績証明書の写しを、電子ファイル形式で提出すること。 ・第 3 学年分については、提出時点までに修了した学期分の成績を提出すること。 ・出身学校の公印または校長のサインがあり、高校名が明記されていること。 ・日本語もしくは英語の記載が無い場合、日本語または英語の翻訳を成績証明書の電子ファイルと一緒に提出すること。 ・出願時に提出可能であれば高等学校の卒業試験結果を添えること。
5			
			[注意] ・翻訳は誰が行っても良いが、翻訳には翻訳を行った機関の公印、もしくは

6	第 3 学年分		翻訳者の自筆のサインを必ずつけること。 ・インドの教育制度による成績証明書については、中等学校の第 10 学年、第 11 学年および第 12 学年の 3 学年分の成績証明書を提出すること。 ・ミャンマーの教育制度による成績証明書については、前期中等学校の第 4 学年、並びに後期中等学校の第 1 学年および第 2 学年の 3 学年分の成績証明書を提出すること。あるいは、セーダン試験(高校卒業/大学入学資格試験)の結果(成績表)と合格証、およびその日本語または英語の翻訳を提出することで、成績証明書と修了証明書を提出したものと認める。
7	修了証明書		・修了証明書または資格証明書等。 ・「II 出願資格 3)」を満たす受験希望者のうち、①の修了者は、出身学校長等が発行した高等学校(Upper Secondary School)の修了証明書を、②の資格取得者は、その資格取得証明書の写しを提出すること。 ・いずれも公印の入った原本の写しを電子ファイル形式で提出すること。 [注意] ・高等学校に在学中の方は、修了証明書およびこれに準ずる書類を提出する必要はありません。
8	日本留学試験(EJU)の成績確認書または成績通知書	電子ファイル(PDF/JPG/GIF/PNG)のいずれか・150 dpi 以上	・次の実施回のうち、いずれか一つの成績確認書(EJU オンラインから印刷したもの)または成績通知書(郵送されたもの)の写しを電子ファイル形式で提出すること。 2024 年度第 1 回、2024 年度第 2 回 2025 年度第 1 回、2025 年度第 2 回 ・2025 年度第 2 回の成績をスコアとして使用する場合は、成績確認書の代わりに受験票の写しを電子ファイル形式で提出すること。 [注意] ・成績は静岡大学が日本学生支援機構(JASSO)に照会し、確認します。 ・出願締切り後に、成績確認書または成績通知書を差し替えることはできません。
9	TOEIC®&R 他英語資格試験のスコアレポート		・2023 年 11 月 11 日以降に受験した TOEIC®L&R、TOEFL iBT®Home Edition、TOEFL iBT®、IELTS (Academic Module) テストのうち、いずれか一つのスコアレポートの写しを電子ファイル形式で提出すること。 ・スコアレポートは受験者の氏名、生年月日が記載されており、顔写真付きであること。 ・TOEIC®L&R IP テスト、TOEFL ITP®テスト、IELTS (General Training Module) テストは使用不可とする。
10	日本語能力試験(JLPT)の合否結果通知書		・EJU の「日本語」科目を受験していない場合、JLPT の合否結果通知書を提出しないと出願することができません。 ・EJU の「日本語」科目を受験している場合でも、JLPT の合否結果通知書があれば必ず提出してください。 ・次の実施回のうち、いずれか一つの合否結果通知書の写しを電子ファイル形式で提出すること。 2023 年度第 2 回、2024 年度第 1 回、 2024 年度第 2 回、2025 年度第 1 回
11	受験許可書 ※出願者が官公庁、企業等に在職している場合のみ		・情報学部、理学部、工学部、農学部のいずれかを志望する出願者のうち、官公庁、企業等に在職している者は、所属する官公庁、企業等の責任者が記名押印したものを電子ファイル形式で提出すること。 ・所定の書式を下記 ABP Web サイトからダウンロードし、作成すること。 https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp/u-admissions/

*TOEIC、TOEFL、TOEFL iBT および TOEFL ITP はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けまたその承認を得たものではありません。

2. 出願方法

出願は、全てオンラインで行います。オンライン出願サイトから画面の指示に従って出願してください。オンライン出願サイトは出願期間中のみ公開されます。詳細は次のABP Webサイトで確認してください。

<https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp>

システムの不具合等により出願手続きがうまく行えない場合は、次の E メールアドレスに問い合わせてください。

abpquery@adb.shizuoka.ac.jp

3. 出願期間

2025 年 11 月 10 日 (月) 日本時間正午～11 月 26 日 (水) 日本時間正午

4. 出願から入学までの日程

詳しくは、各項の説明を確認してください。

各手続き		日程・期間(いずれも日本時間)
出願		2025年11月10日(月)正午～11月26日(水)正午
第一次選抜合格発表		2026年1月16日(金)正午
接続チェック日時の調整		2026年1月16日(金) ～ 1月18日(日)
受験票送付(接続チェック・面接試験日時の通知)		2026年1月21日(水)
オンライン面接接続チェック		2026年1月26日(月)～ 2月3日(火)の期間中いずれかの日時
面接試験	人文社会科学部	2026年2月9日(月)、2月16日(月)
	教育学部	2026年2月17日(火)
	情報学部	2026年2月17日(火)、2月18日(水)
	理学部	2026年2月10日(火)、2月19日(木)
	工学部	2026年2月5日(木)、2月6日(金)
	農学部	2026年2月20日(金)
第二次選抜合格発表		2026年 3月6日(金)正午
入学手続き		2026年 9月下旬
入学日		2026年 10月1日(木)

V 選抜方法

1. 選抜方法・配点

第一次選抜

第一次選抜は、日本語能力試験(EJU「日本語」・JLPT)、科目試験(EJU「理科」「総合科目」「数学」)および英語資格試験の点数をもとに判断します。ただし、p. 14 ～p. 16 に示す各学部第二次選抜の得点区分①の得点が、人文社会科学部、教育学部、情報学部、理学部、工学部は配点の 50%、農学部は配点の 60%に満たない場合は、合格対象者から除外します。

第二次選抜

第一次選抜合格者について面接試験を実施のうえ、次の選抜方法・配点に基づき可否を判定します。

1) 人文社会科学部

学科	社会学科、言語文化学科、法学科、経済学科											
選抜方法・配点	第一次選抜合格者について、EJU(「総合科目」「数学」)、英語資格試験および面接試験の成績により合格者を決定します。面接試験での使用言語は日本語です。 下表に示す①学力と②コミュニケーション力の得点を算出し、それぞれの配点の 50%を合格の最低ラインとし、成績上位者から総合的に判断し合格とします。											
	<table><tr><th>得点区分</th><th>科目 (EJU・英語)・面接試験</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="3">①学力</td><td>総合科目(100 点)</td><td rowspan="3">300 点</td></tr><tr><td>数学(コース 1) (100 点)</td></tr><tr><td>英語資格試験(100 点)</td></tr><tr><td>②コミュニケーション力</td><td>面接試験</td><td>200 点</td></tr></table>	得点区分	科目 (EJU・英語)・面接試験	配点	①学力	総合科目(100 点)	300 点	数学(コース 1) (100 点)	英語資格試験(100 点)	②コミュニケーション力	面接試験	200 点
	得点区分	科目 (EJU・英語)・面接試験	配点									
	①学力	総合科目(100 点)	300 点									
		数学(コース 1) (100 点)										
英語資格試験(100 点)												
②コミュニケーション力	面接試験	200 点										
	英語資格試験は、それぞれの試験の満点を 100 点に換算して利用します。											

2) 教育学部

学校教育教員養成課程													
選抜方法・配点	第一次選抜合格者について、EJU(「総合科目」「数学」)、英語資格試験および面接試験の成績により合格者を決定します。面接試験での使用言語は日本語です。 下表に示す①試験と②面接試験の得点を算出し、それぞれの配点の 50%を合格の最低ラインとし、成績上位者から総合的に判断し合格とします。												
	<table><tr><th>得点区分</th><th>科目(EJU・英語)・面接試験</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="3">①試験</td><td>総合科目(200 点)</td><td rowspan="3">500 点</td></tr><tr><td>数学(コース 1 または 2)(200 点)</td></tr><tr><td>英語資格試験(100 点)</td></tr><tr><td>②面接試験</td><td>面接試験</td><td>500 点</td></tr></table>		得点区分	科目(EJU・英語)・面接試験	配点	①試験	総合科目(200 点)	500 点	数学(コース 1 または 2)(200 点)	英語資格試験(100 点)	②面接試験	面接試験	500 点
	得点区分	科目(EJU・英語)・面接試験	配点										
	①試験	総合科目(200 点)	500 点										
		数学(コース 1 または 2)(200 点)											
英語資格試験(100 点)													
②面接試験	面接試験	500 点											
英語資格試験は、それぞれの試験の満点を 100 点に換算して利用します。													

3) 情報学部

学科	情報科学科、行動情報学科											
選抜方法・配点	第一次選抜合格者について、EJU(「理科」「数学」)、英語資格試験および面接試験の成績により合格者を決定します。面接試験での使用言語は日本語および英語です。 下表に示す①学力と②コミュニケーション力の合計点をそれぞれ独立に算出し、それぞれの配点の 50%を合格の最低ラインとし、成績上位者から総合的に判断し合格とします。											
	<table><tr><th>得点区分</th><th>科目 (EJU・英語)・面接試験</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="2">①学力</td><td>理科 (200 点)</td><td rowspan="2">400 点</td></tr><tr><td>数学(コース 2) (200 点)</td></tr><tr><td rowspan="2">②コミュニケーション力</td><td>英語資格試験 (100 点)</td><td rowspan="2">300 点</td></tr><tr><td>面接試験 (200 点)</td></tr></table>	得点区分	科目 (EJU・英語)・面接試験	配点	①学力	理科 (200 点)	400 点	数学(コース 2) (200 点)	②コミュニケーション力	英語資格試験 (100 点)	300 点	面接試験 (200 点)
	得点区分	科目 (EJU・英語)・面接試験	配点									
	①学力	理科 (200 点)	400 点									
		数学(コース 2) (200 点)										
②コミュニケーション力	英語資格試験 (100 点)	300 点										
	面接試験 (200 点)											
	英語資格試験は、そのスコアを 100 点満点に換算して利用します。											
学科	情報社会学科											
選抜方法・配点	第一次選抜合格者について、EJU(「総合科目」「数学」)、英語資格試験および面接試験の成績により合格者を決定します。面接試験での使用言語は日本語および英語です。 下表に示す①学力と②コミュニケーション力の合計点をそれぞれ独立に算出し、それぞれの配点の 50%を合格の最低ラインとし、成績上位者から総合的に判断し合格とします。											
	<table><tr><th>得点区分</th><th>科目 (EJU・英語)・面接試験</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="2">①学力</td><td>総合科目 (200 点)</td><td rowspan="2">400 点</td></tr><tr><td>数学(コース 1 または 2) (200 点)</td></tr><tr><td rowspan="2">②コミュニケーション力</td><td>英語資格試験 (100 点)</td><td rowspan="2">300 点</td></tr><tr><td>面接試験 (200 点)</td></tr></table>	得点区分	科目 (EJU・英語)・面接試験	配点	①学力	総合科目 (200 点)	400 点	数学(コース 1 または 2) (200 点)	②コミュニケーション力	英語資格試験 (100 点)	300 点	面接試験 (200 点)
	得点区分	科目 (EJU・英語)・面接試験	配点									
	①学力	総合科目 (200 点)	400 点									
		数学(コース 1 または 2) (200 点)										
②コミュニケーション力	英語資格試験 (100 点)	300 点										
	面接試験 (200 点)											
	英語資格試験は、そのスコアを 100 点満点に換算して利用します。											

4) 理学部

学科	数学科、物理学科、化学科、生物科学科、地球科学科											
選抜方法・配点	第一次選抜合格者について、EJU(「理科」「数学」、英語資格試験および面接試験の成績により合格者を決定します。面接試験での使用言語は日本語および英語です。面接試験は口頭試問(専門分野に関する質問)を含みます。 下表に示す①学力と②コミュニケーション力の得点を算出し、それぞれの配点の 50%を合格の最低ラインとし、成績上位者から総合的に判断し合格とします。											
	<table><tr><th>得点区分</th><th>科目(EJU・英語)・面接試験</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="2">①学力</td><td>理科(200 点)</td><td rowspan="2">400 点</td></tr><tr><td>数学(コース 2) (200 点)</td></tr><tr><td rowspan="2">②コミュニケーション力</td><td>英語資格試験(100 点)</td><td rowspan="2">450 点</td></tr><tr><td>面接試験(口頭試問を含む) (350 点)</td></tr></table>	得点区分	科目(EJU・英語)・面接試験	配点	①学力	理科(200 点)	400 点	数学(コース 2) (200 点)	②コミュニケーション力	英語資格試験(100 点)	450 点	面接試験(口頭試問を含む) (350 点)
	得点区分	科目(EJU・英語)・面接試験	配点									
	①学力	理科(200 点)	400 点									
		数学(コース 2) (200 点)										
②コミュニケーション力	英語資格試験(100 点)	450 点										
	面接試験(口頭試問を含む) (350 点)											
	英語資格試験は、CEFR の定める換算表を参考に 100 点満点に換算して利用します。											

5) 工学部

学科	機械工学科、電気電子工学科、電子物質科学科、 化学バイオ工学科、数理システム工学科											
選抜方法・配点	第一次選抜合格者について、EJU(「理科」「数学」)、英語資格試験および面接試験の成績により合格者を決定します。面接試験での使用言語は日本語および英語です。面接試験は口頭試問(専門分野に関する質問)を含みます。 下表に示す①学力と②コミュニケーション力の得点を算出し、それぞれの配点の 50%を合格の最低ラインとし、成績上位者から総合的に判断し合格とします。 <table><tr><th>得点区分</th><th>科目(EJU・英語)・面接試験</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="2">①学力</td><td>理科(200 点)</td><td rowspan="2">400 点</td></tr><tr><td>数学(コース 2)(200 点)</td></tr><tr><td rowspan="2">②コミュニケーション力</td><td>英語資格試験(100 点)</td><td rowspan="2">300 点</td></tr><tr><td>面接試験(口頭試問を含む)(200 点)</td></tr></table> 英語資格試験は、それぞれの試験の満点を 100 点に換算して利用します。	得点区分	科目(EJU・英語)・面接試験	配点	①学力	理科(200 点)	400 点	数学(コース 2)(200 点)	②コミュニケーション力	英語資格試験(100 点)	300 点	面接試験(口頭試問を含む)(200 点)
得点区分	科目(EJU・英語)・面接試験	配点										
①学力	理科(200 点)	400 点										
	数学(コース 2)(200 点)											
②コミュニケーション力	英語資格試験(100 点)	300 点										
	面接試験(口頭試問を含む)(200 点)											

6) 農学部

学科	生物資源科学科、応用生命科学科											
選抜方法・配点	第一次選抜合格者について、EJU(「理科」「数学」)、英語資格試験および面接試験の成績により合格者を決定します。面接試験での使用言語は日本語です。面接試験は口頭試問(専門分野に関する質問)を含みます。											
	下表に示す①学力と②コミュニケーション力の得点を算出し、それぞれの配点の 60%を合格の最低ラインとし、成績上位者から総合的に判断し合格とします。											
	<table><tr><th>得点区分</th><th>科目(EJU・英語)・面接試験</th><th>配点</th></tr><tr><td rowspan="2">①学力</td><td>理科(200 点)</td><td rowspan="2">400 点</td></tr><tr><td>数学(コース 2)(200 点)</td></tr><tr><td rowspan="2">②コミュニケーション力</td><td>英語資格試験(100 点)</td><td rowspan="2">400 点</td></tr><tr><td>面接試験(口頭試問を含む)(300 点)</td></tr></table>	得点区分	科目(EJU・英語)・面接試験	配点	①学力	理科(200 点)	400 点	数学(コース 2)(200 点)	②コミュニケーション力	英語資格試験(100 点)	400 点	面接試験(口頭試問を含む)(300 点)
	得点区分	科目(EJU・英語)・面接試験	配点									
	①学力	理科(200 点)	400 点									
数学(コース 2)(200 点)												
②コミュニケーション力	英語資格試験(100 点)	400 点										
	面接試験(口頭試問を含む)(300 点)											
	英語資格試験は、それぞれの試験の満点を 100 点に換算して利用します。											

2. 第二次選抜について

面接試験は出願者個人とのオンライン面接(Zoom 面接)で行います。第一次選抜合格者と調整し、オンライン面接接続チェックの日時を決定します。詳細は第一次選抜合格者に E メールで連絡します。オンライン面接を受験する出願者は高速かつ安定してインターネット通信ができる環境を準備してください。

接続不良のために、各学部の定める期間内に面接試験が完了できない場合は面接試験を欠席したものとみなします。

VI 合格発表

第一次選抜・第二次選抜の合否結果は次表の日程で出願者に対し E メールで通知します。また第二次選抜の合格者は ABP Web サイト(<https://www.abp.icsu.shizuoka.ac.jp>) でも公表します。

第一次選抜合格発表	2026年1月16日(金)正午
第二次選抜合格発表	2026年3月6日(金)正午

VII 入学手続きと入学日

詳細に関しては合格者に E メールで通知します。入学手続きに必要な書類を指定された期日までに提出できない場合は、入学許可後であっても入学許可を取り消すことがあります。

入学手続き	2026年9月下旬
入学日	2026年10月1日(木)

VIII 注意事項

1. 入学検定料および授業料

入学検定料および入学料については徴収しません。授業料については、1 年目は徴収しません。さらに 2～4 年目は成績により授業料の 100%もしくは 50%が不徴収、あるいは全額徴収となります。授業料の他に必要な諸経費が発生することがあります。

2. 入学に係る初期費用(概要)

事項		費用 (2025 年時点)
1	学生生活関係諸経費 ・学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険等(4 年間分) ・学生福利厚生会費(4 年間分) など	2～4 万円程度 (学部、学科によって異なります。その他、住居にかかる保険料等が発生することがあります。)
2	ノート型パーソナルコンピュータの購入費(推奨)	・情報学部 税込み 20～25 万円程度 ・理学部 生物科学科 税込み 18～21 万円程度 ・工学部 税込み 19 万円程度 (詳細は入学時に学部から案内があります。)
3	寮費(静岡大学国際交流会館)	寄宿料:月額約 25,000 円 共益費:月額約 3,000 円 退去時清掃費:5,500 円～13,200 円

※入学手續終了後、この他に、諸経費の納付およびその他関係書類の提出が必要となる場合があります。

3. 入学後の住居および生活費

入学後の住居として、静岡大学学生寮(静岡国際交流会館、浜松国際交流会館またはあけぼの寮)に少なくとも2年間入居することになります。寮費は寮により異なります。上記寄宿料は上限額を示しています。合格者には、入学手続きの一環として、個別に連絡します。寮の詳細は以下の Web サイトを参照してください。

<https://www.suoic.shizuoka.ac.jp/international/dwelling/>

また、入学後の生活費は個人負担です。食費・寮費・雑費などを併せて、月額約7～8万円必要です。

4. 問い合わせ先

〔窓口〕 静岡大学 国際課

〔E メールアドレス〕 abpquery@adb.shizuoka.ac.jp

5. 試験結果の開示申請

第二次選抜の不合格者を対象として、入学試験成績等の開示申請を受け付けます。申請は次の窓口へ、指定の受付期間内に E メールで行ってください。折り返し、申請の手続きおよび必要な書類等について連絡します。指定の受付期間外の申請は受理しませんので注意してください。

〔窓口〕 静岡大学 国際課

〔E メールアドレス〕 abpquery@adb.shizuoka.ac.jp

〔開示申請の受付期間〕 2026 年 11 月 16 日(月)～12 月 15 日(火) (日本時間正午)

6. 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取扱います。

- ① 出願書類に記載された個人情報および入学者選抜に用いた試験成績については、a. 入学者選抜(出願処理、選抜実施)、b. 合格発表、c. 入学手続業務、d. 入学者選抜方法および大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。
- ② 入学者の個人情報については、a. 教務関係(学籍、修学指導等)、b. 学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)、c. 授業料徴収、d. 入学者選抜方法および大学教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。
- ③ 上記①および②の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」という。)において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供します。

7. 安全保障輸出管理について

静岡大学では、「外国為替および外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受入に際し厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【別表 1】 各学部が求める日本語能力の目安

学部・学科	どちらか一方を満たすことが求められる	
	EJU 「日本語」科目	JLPT
人文社会科学部	220 点以上	N1・N2 合格または N3 135 点以上
教育学部	240 点以上	N1 合格
情報学部	220 点以上	N1・N2 合格または N3 135 点以上
理学部		N1 または N2 合格
工学部		N1・N2 合格または N3 135 点以上
農学部		

【別表 2】 GCE・A レベル資格の扱いについて

英国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル (General Certificate of Education Advanced Level) 資格を有する者に出願資格を認めます。

出願に必要な科目数や評価は次のとおりです。

GCE・A レベル資格 学部別基準

人文社会科学部	・A レベル試験 3 科目 ・AS レベル試験 2 科目が A レベル試験 1 科目に相当するものとします。なお、AS レベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格 (E 評価以上) のものに限りします。
教育学部	・A レベル試験 3 科目 ・AS レベル試験 2 科目が A レベル試験 1 科目に相当するものとします。 ・成績は合格 (E 評価以上) のものに限りします。
情報学部	・A レベル試験 3 科目以上 ・AS レベル試験 2 科目が A レベル試験 1 科目に相当するものとします。なお、AS レベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格 (E 評価以上) のものに限りします。 ・情報科学科では数学、行動情報学科では数学および心理に関する科目を含むものとします。(すべて A レベル試験)
理学部	・A レベル試験 1 科目以上 ・AS レベル試験 2 科目が A レベル試験 1 科目に相当するものとします。 ・成績は合格 (E 評価以上) のものに限りします。
工学部	・A レベル試験 3 科目以上 ・AS レベル試験 2 科目が A レベル試験 1 科目に相当するものとします。なお、AS レベル試験のみは不可とします。 ・成績は合格 (E 評価以上) のものに限りします。 ・数学および理科 (物理又は化学) に関する科目を含むものとします。
農学部	・A レベル試験 1 科目 ・AS レベル試験は不可とします。 ・成績は合格 (E 評価以上) のものに限りします。 ・理科 (物理, 化学又は生物) に限りします。

[別表 3] 出願に必要な受験科目

下記に示す科目を受験していない場合には、出願することができません。

ただし、EJU の「日本語」科目についてのみ、過去 2 年以内に受験した日本語能力試験 (JLPT) のスコアを提出することで出願要件を満たすものとします。

学部	学科・課程		日本留学試験 (EJU)・日本語能力試験 (JLPT)				英語 資格試験
			日本語	理科	総合科目	数学	
			EJU (400 点満点) 聴解・聴読解・ 読解/JLPT	(各 200 点満点・英語での受験可)			
人文社会科学部	昼間コース	社会学科	○		○	コース 1	以下のうち いずれか 一つ TOEIC® L&R TOEFL iBT® Home Edition TOEFL iBT® IELTS (Academic Module)
		言語文化学科	○		○	コース 1	
		法学科	○		○	コース 1	
		経済学科	○		○	コース 1	
教育学部	学校教育教員養成課程		○		○	コース 1 または 2	
情報学部	情報科学科		○	物・化・生から 2 科目自由選択		コース 2	
	行動情報学科		○	物・化・生から 2 科目自由選択		コース 2	
	情報社会学科		○		○	コース 1 または 2	
理学部	数学科		○	物・化・生から 2 科目自由選択		コース 2	
	物理学科		○	物理必修 他 1 科目自由選択		コース 2	
	化学科		○	化学必修 他 1 科目自由選択		コース 2	
	生物科学科		○	物・化・生から 2 科目自由選択		コース 2	
	地球科学科		○	物・化・生から 2 科目自由選択		コース 2	
工学部	機械工学科		○	物理・化学		コース 2	
	電気電子工学科		○	物理・化学		コース 2	
	電子物質科学科		○	物理・化学		コース 2	
	化学バイオ工学科		○	物理・化学		コース 2	
	数理システム工学科		○	物理・化学		コース 2	
農学部	生物資源科学科		○	物・化・生から 2 科目自由選択		コース 2	
	応用生命科学科		○	物・化・生から 2 科目自由選択		コース 2	